

農園便り 8

2024/08/01

(140号)

文責 筒口典康

梅雨明け後(7/18)の連日の暑さ、たまったものでない。

首に保冷首巻、帽子に水筒。 早朝に収穫に出かける。 新聞配達のパイク音。 既に 28℃もある。 キュウリ、ナス、トマト。 2 か月近く全く放置しておいたのに調子がよい。 あまりに暑い時には、スーパーに飛び込む。



7/28 お化けキュウリ ナス トマト

8/2 パパイヤ茂る 農園南口そば

キュウリは、お化け。 でも、これが結構美味しいのである。 種子は固く
なっていない。 とてもジューシーで甘いのである。 皮むき器で一筋置きに
削る。 塩、味噌。醤油。 古漬けになった糠漬けのキュウリと一緒にいただく。
これが旨い。 畑で、発見。 キュウリが突然地中に突き刺さっている
のである。 何本も！。

収穫の終わった節に 2 度目のお花が咲き、ウリが伸びる。 気が付かなかつた。
一節、二度成りだ！。 品種によって 2 本同時になることはあるが…。
2 か月間の放置で、そこら中で、二度成り。 既にジャングル

そこで、茂りすぎたところを乱暴に刈り取る。 地表に「光り」が、届けと。
ウリ新苗を脇の隙間 2 本植える。 キュウリには、このところの暑さが丁度良
いのであろう。「水」好みのキュウリに水撒きをする。「光り」の確保(除
草・茎の誘引…)。 調子を落とさないうちに、そろそろ追肥しましょう。(7/27)

とにかく、3月の「土作り」が大成功。 これまで、追肥は全くしていない。

3月に、「JOYマルタ玉肥大粒」(醗酵油粕肥)と「糠」で、土毎醗酵。これだ。有限会社長浜商店, ☎0280-56-1100 (栃木県下都賀郡) 玉肥の醗酵「菌」が良い。 土毎醗酵後の「土」は、昔の畑の臭い。

玉肥は、生活クラブ生協のカatalogで知った。宮城内の畑や温室、水田で使われているようだ。御用達であるので、安全な有機肥料であろう。送料込みで11.640円。ドウコウ缶で4個で届く。「糠」は、保谷南口の米屋で確保できる。米の大袋1俵で、1000円弱で買える。マルタ玉肥は、大・中・小粒が用意されている。

有機物の土毎醗酵のせいか、今年の野菜の出来が良い。元気である。害虫が余りこない…、病気が出ないのであります。玉肥の「菌ちゃん」のせいでありましょう。

昭和に入っの慣行農法、現代農法。⇒ 農薬・化学肥料の導入。JA(農協)でも…。堆肥・化成肥料・薬剤散布の…農法だ。農家さんの慣行農法だ。

清潔で良く育つ。最終的には「施設栽培」「水耕栽培」と言うことになる。で、で、…。勤務する中学校で、メロンを「水耕栽培」で作ってみた。

順調な滑り出し。実がぶる下がる。期待が高まる。興味心の強いヤンチャガールが、技術室の掃除の時に、溶液槽をかきまわしていると報告が入る。急いで、駆けつける。翌日、全滅。悪玉菌の仕業だ。突然の罹病で、手の施しようがない。一夜で枯れてしまった。ガッカリ。

つくば市で開かれた植物博覧会で「トマト」の水耕栽培を見た。見に行きました。1本のトマトの樹に数百ものトマトが実る。実に見事に…。松の木中で使った栽培容器はその時に紹介されていた器材でした。電気代は高くつくし、溶液は高いし、とにかく「水耕栽培」は、実に金を食う虫だ。

全国の「技術・家庭科」の栽培学習で、「レタスの水耕栽培」が一世風靡。何処の学校でも作り出した。流行した。教科書にも取り入れられた。

水耕栽培を中心にして農業学習を進めることは、大きな誤り。綺麗で？安心安全？…。ところが、突然病虫害が発生！。菌の侵入で一夜で枯れ込む。そこで、薬剤散布。うまくいかない。栽培学習の崩壊だ。都合の悪い報告は隠す。検討されない。

その辺から、「技術科」の作るから情報。「情報科」化への流れになった。栽培学習は、敬遠された。「技術科」は「技術科」(加工・栽培)であって良いのに！！！！

「情報学習」は、別物だ。で、…、金属加工・木材加工・電気学習などの加工学習が、無くなった。教育内容の改定である。



黄色皮のミニスイカ 中は赤色

中央 色付く

完熟 甘い！

次の写真は、ナスに居る二ジュウヤボシテントウを捕まえようとするカマキリを偶然撮影したものである。食欲旺盛なこの虫は油断していると、2～3日で「葉」に穴をあける。「実」に噛み傷をつける。困ったもんだ。



↑テントウ虫

6/29 ナスの葉の上に居るオオニジュウヤボシテントウを狙うカマキリ(中央) 悪玉

無農薬で栽培を続けていると、色々な生き物がやって来る。トンボもクモも蜂もトカゲもカエルも小鳥も・・・、やって来る。そこで、「水」の飲み場も用意する(3つの水槽=コンテナ)。沢山の生物たちが集まってくる。

私の耕区73には、四隅にタンジイマジイ(キク科)と言う虫除けハーブ、シソ、薄荷、菘、レモングラスも植えている。それらの葉を細かく刻んで畝に、撒く。臭いで、悪虫たちが居なくなる。有効である。アリもアブラムシも来なくなる。気が付いた時に撒くだけだ。有効である。

畝間の風通しを良くする。作物全体に日が良く当たるようにする

「健康」で、「元気」な野菜たちは、虫の忌避成分を分泌すると言われています。

野菜たちの弱り目に虫たちが寄ってくるのであります。病気がやってくるのであります。「菌」が、蔓延するのであります。そこで元気な野菜を育てようと頑張る。工夫する。

雑草 雑草もあって良い。根に菌根菌をつける。「VA菌根菌」「根粒菌」…。善玉菌が菌糸を伸ばし「水」を集める。「土」に吸着したP(磷)を解き放つ。「団粒」を作る。雑草の根は、地中の大事な有機物。土に隙間＝穴を作る。生物たちの住み場でもある。春雑草、夏雑草、宿根草、一年草、…。イネ科、マメ科、キク科…。草たちの生え方で土の「酸度」＝PHが解る。雑草の状態「土」の様子が解る。農園の歩道が白く干されているのに草たちは元気。土の生物たちは、元気。植木鉢の植物も数年経ったものは乾燥に強い。土中生物の繋がり、強くなる。雑草園は生命で一杯だ。

雑草を刈り取ってマルチに使う。マルチ効果と刈草の接地面から、じわじわと、N・P・K、微量元素も染み出てくるのである。雑草様々なのである。

根耕 根で耕す。

強勢な熱帯植物の「根」で耕す。

パパイヤである。台湾、御出身の方、フィリッピン、インドネシア…で暮らしたことがある方にお聞きすると。バナナ、パパイヤは、菜園の隅に植えておりました…と。特にパパイヤは強勢な植物なので気を使ったようである。油断をすれば、手に負えない強制植物。

パパイヤを日本で植えると、どうなる？。ありがたいことに冬の寒さで根が凍ってしまい根穴ができる。「土中に穴」根耕である。

スーパー「アキダイ」で、完熟状態のパパイヤを買う。大量の種。箆に入れて洗う。温室の中のガラスケースで発芽させよう。発芽は、とても良いと言う。今年の秋の楽しみだ。苗を育てる。来年の5月に列植。列状に根耕させてみよう

クロタラリア 北アメリカ南東部のマメ科植物。

これも「根耕」に使える強い植物である。「根」「葉」「茎」に養分を貯める。刈り取って緑肥。根には根粒菌。

「ネコブセンチュウ」が根に侵入すると、細胞を増殖させて、線虫を締め上げて殺す。捕殺する。クロタを列植してその脇に大根を植えると、美肌大根ができる。根菜類に使える。使っている。また、クロタは生長が早いので脇芽を残して刈り取り、脇に置く。「アズキ」を1/10ぐらいにした豆をつける。焙煎してお茶にして飲めると言うが、未だいただいてはいない。マメ科植物豆には毒草もあるのでまだ試飲していない。台湾御出身のお方は飲んだことがあると言う。コーヒーみたいなものであろう。根が地中深くに張り巡り「根耕」効果がある。

キクイモ アメリカ中西部の温帯植物。ロッキー山系の東域に野生する。インデアンが季節ごとに大移動できた時代に採取されて食べられていた。アメリカのカンザス州の「カンザ」⇒雑穀。アピオス⇒マメ科の芋。野生である。食べるられる植物たちが広く点在していた。ヒマワリも。モロコシも。カボチャも。インゲンも。

インデアンたちは、自由に移動生活をしていた。バイソンだってヘラジカだって季節移動。狩り採って食料にしていた。彼らはアメリカ大陸の文化を持つ、自由に移動する自然人であった。16世紀、白人が侵入する。そうはいかなくなった。……。西部劇に時代になる。

ま〜、ともかく、キクイモの事の話に戻る。「根」の張がすごい。3メートルを超える成長。キクイモに「根耕」させる。刈り取って畝間に置く。3ヵ月もすると、腐蝕してしまう。「緑肥」だ。今年も緑肥として使っている。

スイカ 2ページの写真は、久しぶりの西瓜の栽培です。上石神井南の農園時代に、千葉の御出身の御婦人の方に教えてもらいました。『初めて御作りになるのなら、ミニスイカが良いですよ』。「土づくり」は、スイカ名人の田中さんに学びました。果皮の色が黄色？、実の色が黄色？。収穫したものは、実の色は赤。スイカ農家のお嬢さんの言う通り。ありがとうございました。お名前と☎を聞いておかなかったのが残念でした。 T、